

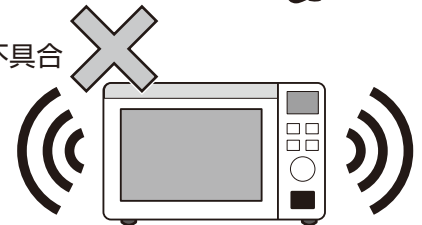


IIXIL FamiLock 電池式 取付け説明書

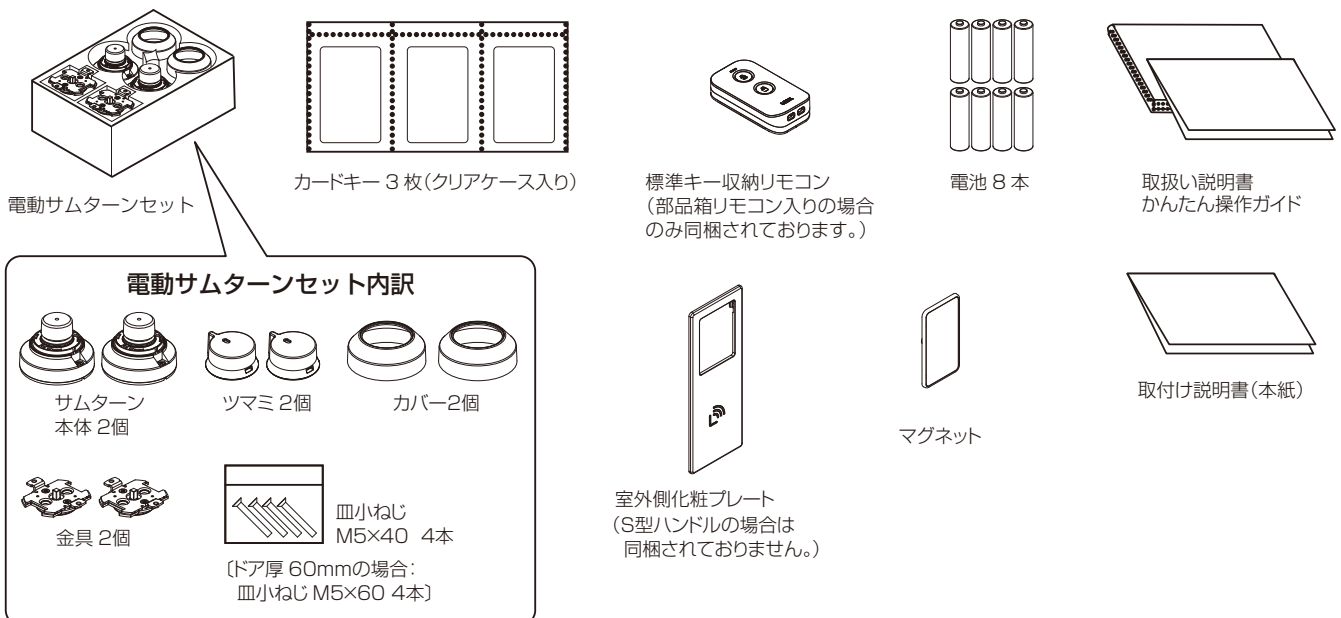
- この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。
- ハンドルの種類や商品によって、室外側リーダーやサムターンなどの形状が絵と異なる場合がありますが、手順・要領は同じです。(S型ハンドルの場合、室外側のリーダーがハンドルに内蔵されています)

■取付け上のお願

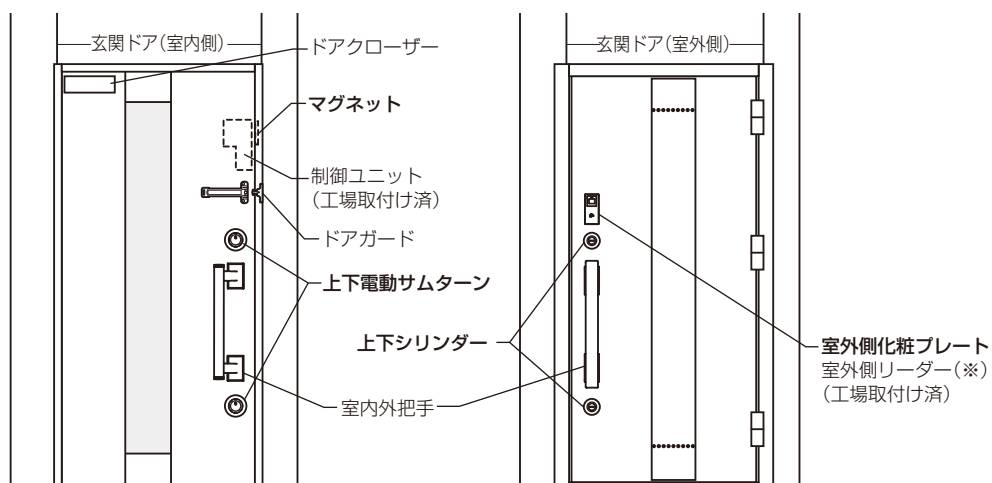
- 次のような場所への玄関ドアの設置は避けてください。故障や正しく作動しない原因になります。
 - ・軒が短く扉を開けた際に扉に直接雨水がかかる場所。
 - ・他の電波式機器から 2m 以内の場所。
 - ・電子レンジなどの電波的なノイズを出す電化製品から 2m 以内の場所。
 - ・玄関ドアが電波を通しにくい壁や金属物で囲まれている場所。
 - ・本製品の使用環境温度範囲は $-10^{\circ}\text{C} \sim 50^{\circ}\text{C}$ 、使用周囲湿度範囲は 20%～90% RH です。温度が上昇する場所（直射日光・直接暖房が当たるところ・ボイラーの近くなど）や -10°C よりも温度が低くなる場所があるところ、通気性が悪く湿気の多いところには使用しないでください。また、寒冷地では、風除室を設置してご使用をおすすめします。
- 電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながるおそれがあります。



■梱包内容の確認(部品箱)



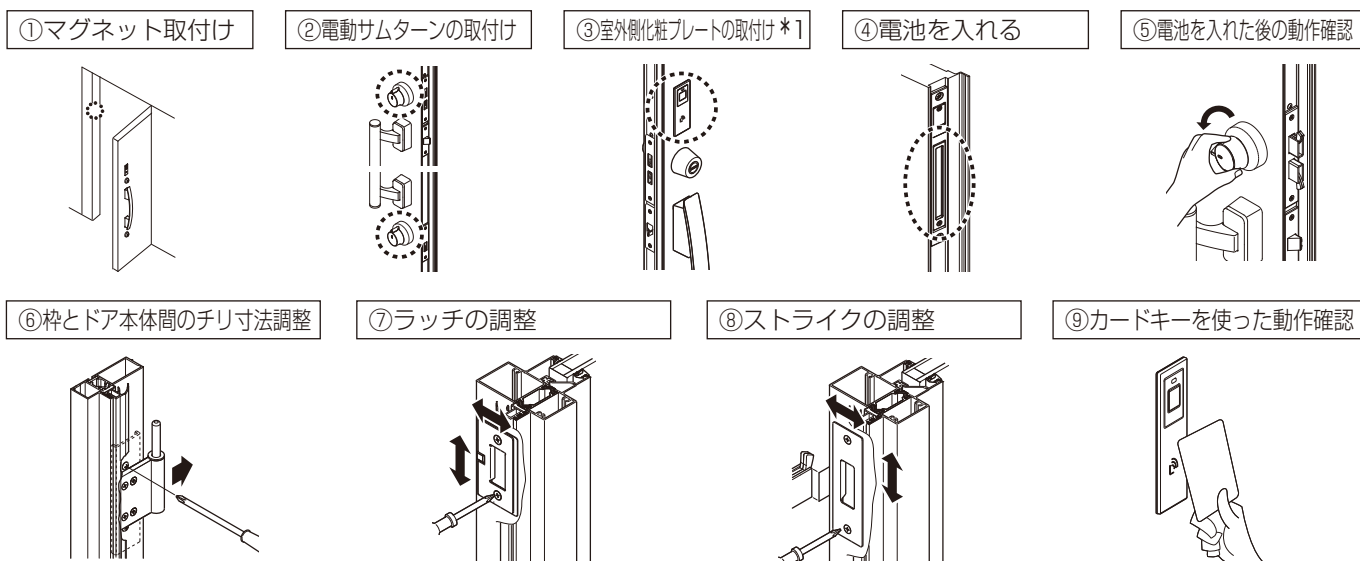
■取付け部品一覧



※S型ハンドルの場合、本説明書に記載されている絵と異なる箇所がありますが、手順・要領は同じです。
(室外側リーダーがハンドルに内蔵されています)

■電気錠取付け手順

●電気錠の取付け手順の一例と本紙に記載している内容を以下にまとめてあります。

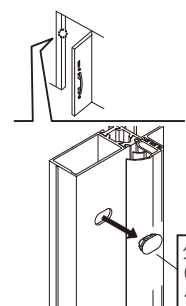


*1) S型ハンドルの場合、室外側化粧プレートを取付ける作業は不要です。

①マグネットの取付け

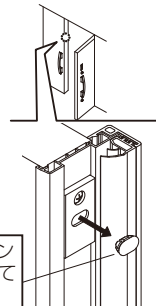
①-1 プッシュボタンを外します。

片開き・袖付

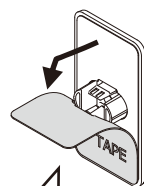


外したプッシュボタン
(材質:PVC)は捨てて
ください。

親子・両開き



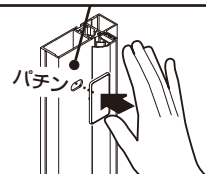
①-2 マグネットのリケイ紙を剥がします。



リケイ紙の剥がし忘れにご注意
ください。

①-3 マグネットを張付けます。

マグネット張付け面が汚れている場合は掃除してください。汚れたまま張付けると外れるおそれがあります。



マグネットを3秒以上強く押付け、
圧着させてください。

※一度張付けたマグネットは、取り外しても再利用できませんのでご注意ください。

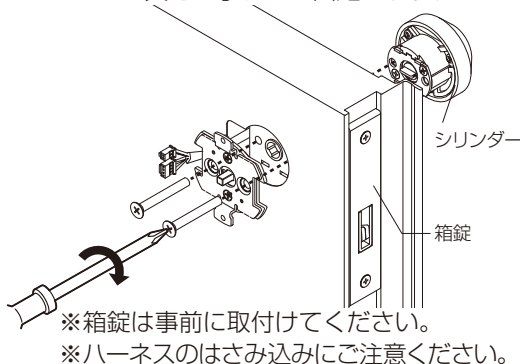
②電動サムターンの取付け

●サムターンは2個とも同じ部品で取付け方法も同じです。

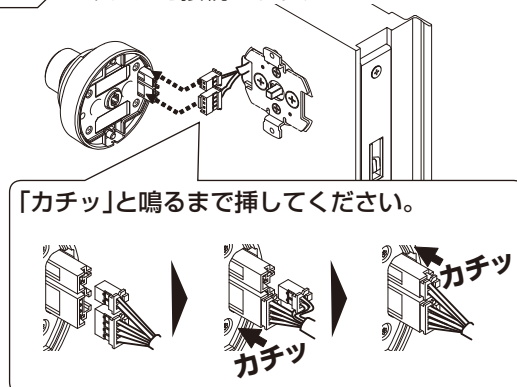
※ねじの締付けトルク(推奨) : 1.2N・m (12kgf・cm)

完成図

②-1 コネクタを引出してからシリンダーと金具を皿小ねじで固定します。



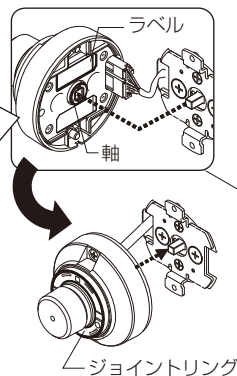
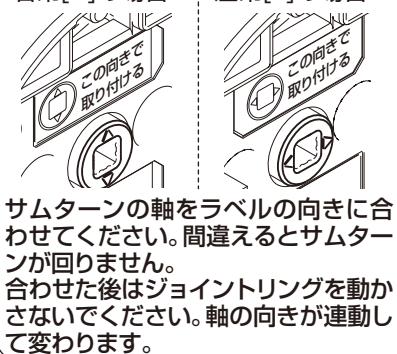
②-2 コネクタを接続します。



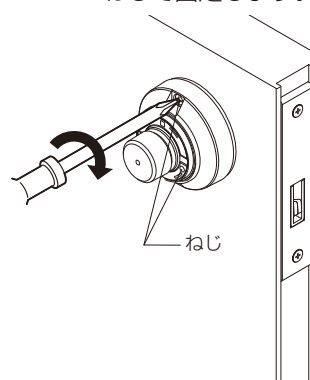
②-3 サムターン本体を金具にはめ込みます。(解錠状態で取付けること)

右吊[R]の場合

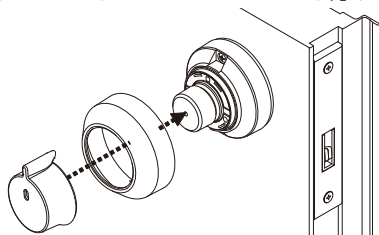
左吊[L]の場合



②-4 サムターン本体をねじで固定します。



②-5 カバーをはめてからツマミを付けます。



●ツマミの外し方

ボタンを押しながら引張ります。



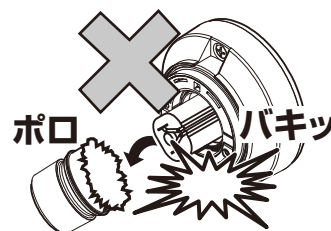
■メンテナンス時の対応 [カバーの外し方]

図のように持ち、ひねるように引張ると外れます。



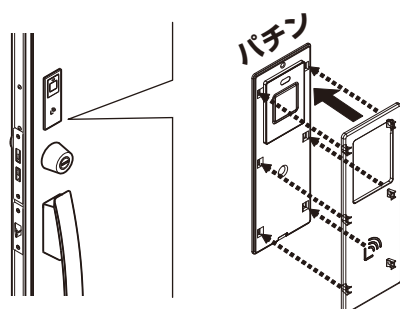
●●取り扱い上のお願い事項●●

本製品は精密機器になります。電動サムターンなどの構成部品には、衝撃や強い力を加えないでください。破損の原因になります。



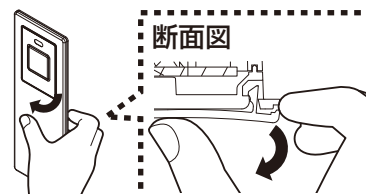
③室外側化粧プレートの取付け

③ リーダーに室外側化粧プレートを取付けます。(※S型ハンドルの場合、この作業は不要です。)



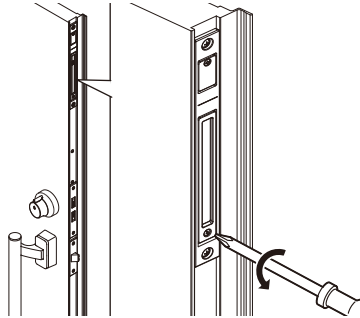
■メンテナンス時の対応 [化粧プレートの外し方]

図のように中央を押しながら横から外してください。別の外し方をするとプレートが破損するおそれがあります。



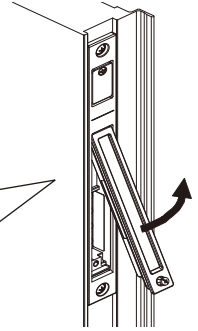
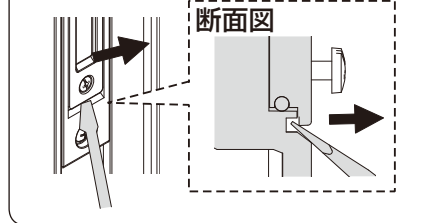
④電池を入れる

④-1 電池フタのねじを緩めます。



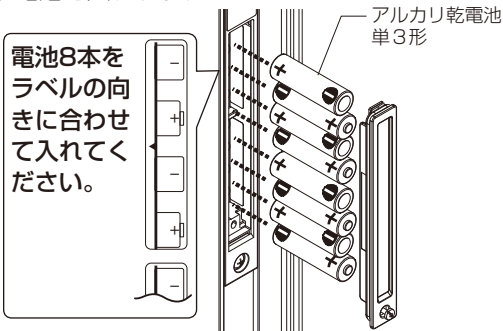
④-2 電池フタを外します。

フタが固い場合は、下図のようにマイナスドライバー等で外してください。



④-3 電池を入れます。

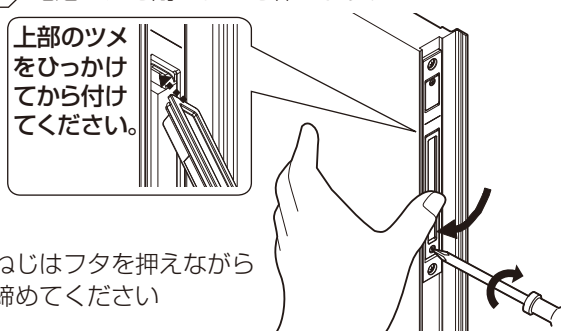
電池8本をラベルの向きに合わせて入れてください。



④-4 電池フタを閉めねじを締めます。

上部のツメをひっかけてから付けてください。

ねじはフタを押えながら締めてください



電池フタを閉めた後、ブザー音(ピ音)が鳴る場合は、以下の原因が考えられます。

ブザー音	お知らせ内容
ピーピー×4 ●●●●×4	上サムターンのコネクタ接続が出来ていません
ピーピーピー×4 ●●●●●×4	下サムターンのコネクタ接続が出来ていません
ピーー—— *1 ————	・電池の入れ間違い ・電池フタが半開きになっている

*1)ブザー音『ピー音』と共に電池切れ表示が点灯します。(詳しくは 7/8 をご確認ください)

⑤電池を入れた後の動作確認

操作



吊込む前や扉を開けた状態で(マグネットが感知していない状態)上下のサムターンをそれぞれ順番に手で施錠させます。

状態

施錠した途端、「ピ音」が5回鳴り、LEDが橙色に点滅する場合



結果

正常にドアが開いている事とサムターンが手動で回された事を感じています。
※確認後、引渡しまでは電池を抜いて利用ください。

音が鳴らない場合



異常です。下記の点検手順①を参考に確認を行いメンテナンスしてください。

■点検手順①(上記手順で異常になった場合のみ点検を実施)

操作

リーダーのボタンを押す。(扉を開けた状態で実施してください。)



状態

LEDが橙色に点滅し、ピ音が5回鳴る。

何にも起こらない。

結果

サムターンのコネクタが正しく接続できていません。

電池が正しく入れられていません。

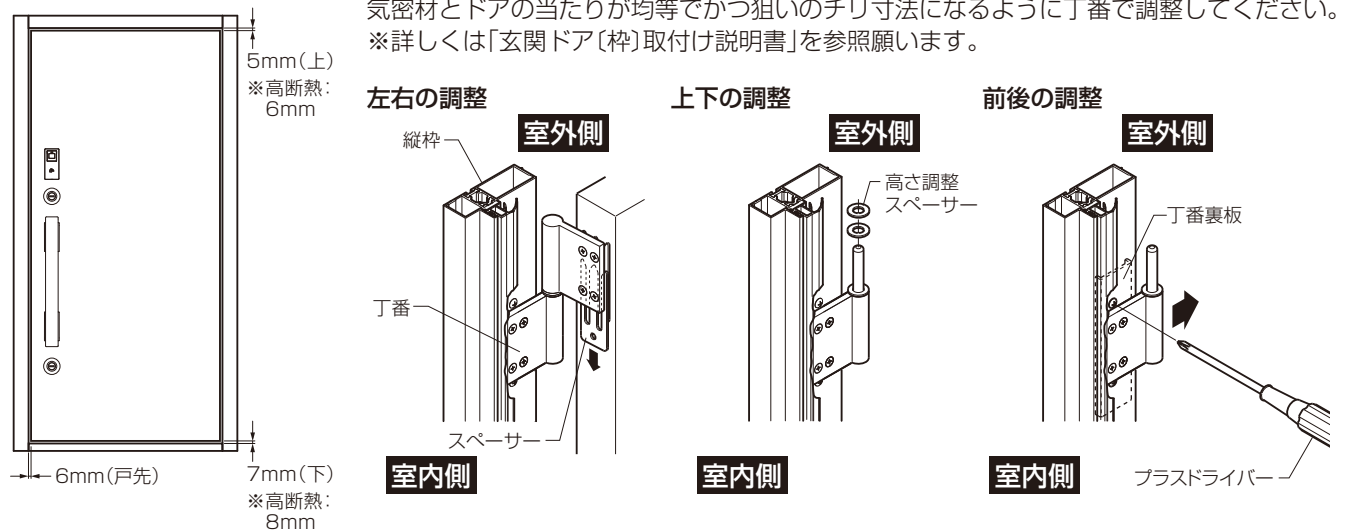
扉を開けた状態で実施

※本確認が終わりましたら工事期間中(工事用キー使用中)は、電池を抜いてご利用ください。自動施錠など、予期しない動作から、閉め出しにあうおそれがあります。

⑥ 枠とドア本体間のチリ寸法の調整

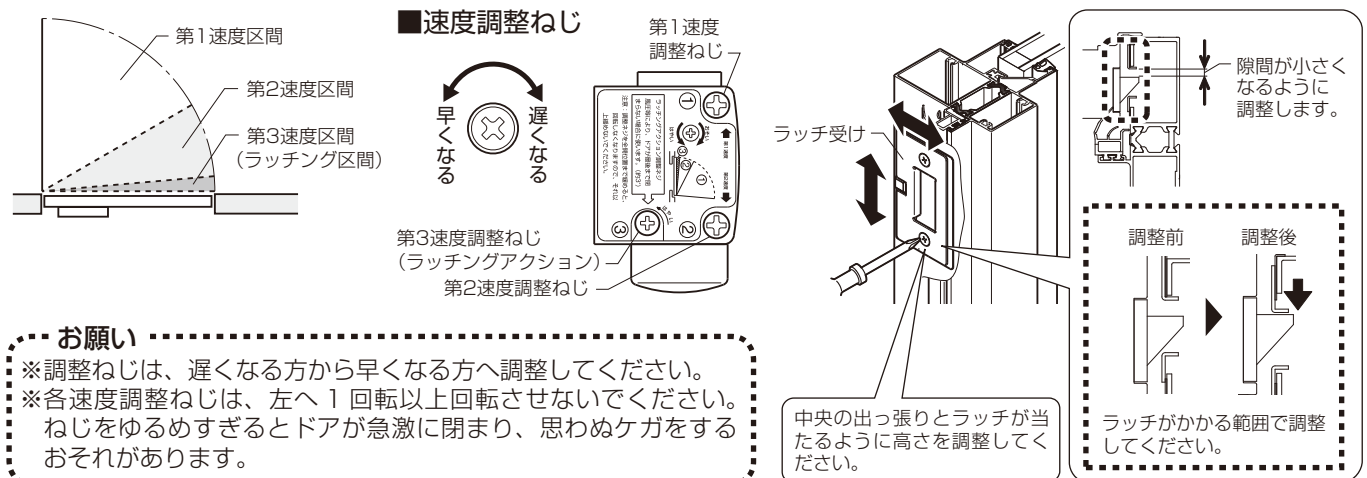
● 上下、戸先側のチリ寸法と気密材とドアの当たりが均等に当たるように確認、調整してください。

■ チリ寸法



⑦ ラッチの調整

● ラッチ調整の前にクローザの速度を適切に調整してドアが最後まで閉まるようにしてください。うまく閉まらない場合は、丁番もしくは子扉のフランス落としの調整を行ってください。そしてラッチがかからない場合、もしくはラッチがかかってもガタつきが大きい場合は、ラッチ受けの位置を調整してください。



お願い

※調整ねじは、遅くなる方から早くなる方へ調整してください。
※各速度調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。
ねじをゆるめすぎるとドアが急激に閉まり、思わぬケガをするおそれがあります。

⑧ ストライクの調整

● ラッチがかかった状態でドアを押し引きしながらサムターンを回し、カギがスムーズにかかるかを確認してください。カギがスムーズにかからない場合は、ストライクの位置を調整してください。

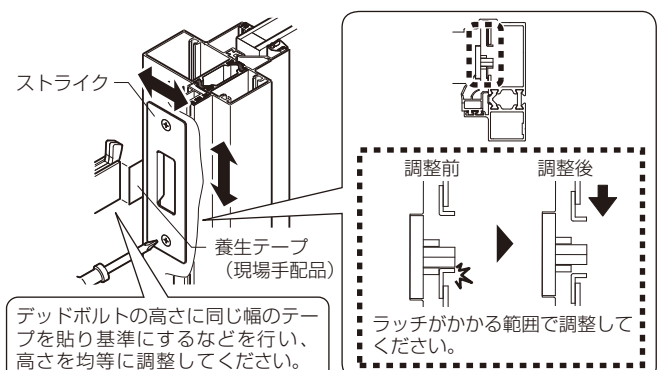
【確認方法】

扉を押しながら
(把手は押さない)

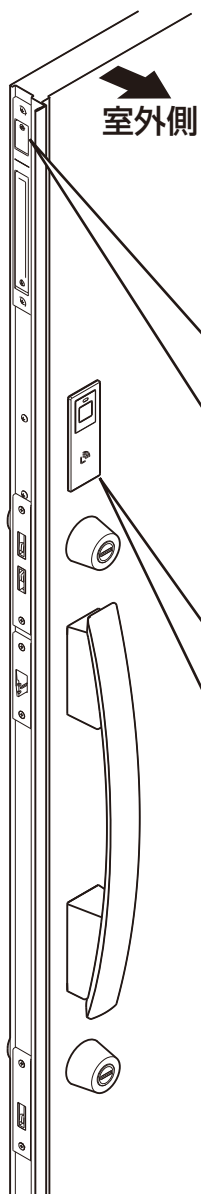
把手を引きながら



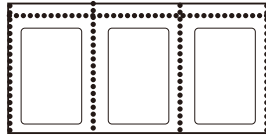
室内側



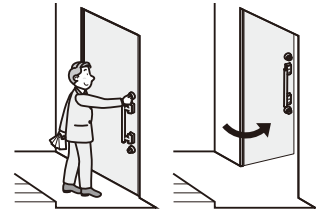
⑨カードキーを使った動作確認



- ① 同梱のカードキー3枚は未登録です。
作動確認を行う際はクリアケースに入れたまま登録を実施してください。

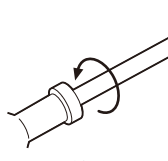


解錠し、ドアを開けます。
※登録終了まで開けたままにしてください。



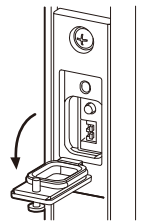
- ② フタのねじをゆるめます。

手回しドライバーを
ご利用ください。



約10回まわします。

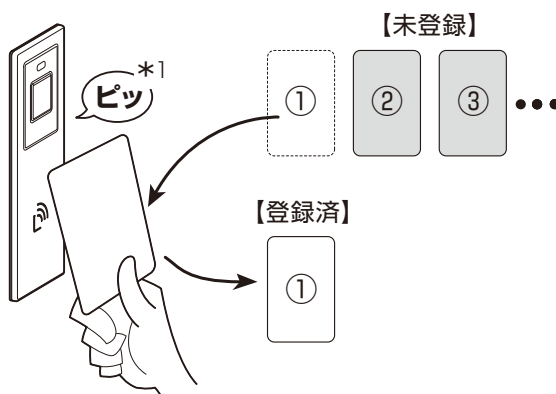
- フタを外します。



- 登録ボタンを1秒押し、離します。

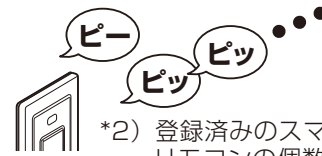


- ③ 1枚ずつカードキーをマークにかざし登録します。



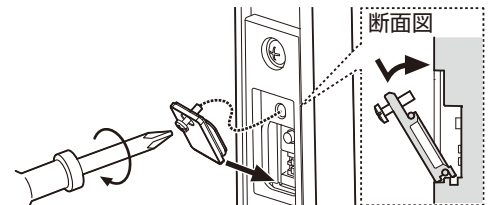
*1) 登録の都度、登録済み枚数分だけ『ピー音』が鳴ります。
(例: 1枚目『ピー』、2枚目『ピー、ピー』)
※最大登録枚数は10枚です。
※S型ハンドルの場合、マークはハンドルに付いています。

- ④ 約30秒待つと登録が終了し、『ピー』音の後、登録枚数分『ピッ』音が鳴ります。*2



*2) 登録済みのスマートフォンやリモコンの個数分も合わせて鳴ります。

- ⑤ フタを元に戻します。



下部のツメをひっかけて
からねじをしめてください。

- ⑥ 外に出てカードキーを使って施解錠の確認を行ってください。

タッチボタンを押し、カード
キーを「マーク」にかざ
します。

2つのカギが
施解錠することを
確認します。



・・・お願い・・・
※電気錠操作では上下2ロック
になりますが工事用キーで操
作できるのは上シリンダーの
みになります。この為、締め
出しの可能性があるため別の
出入り口を確保するか室内に
人が居る状態で確認を行っ
てください。
※工事中は連動施錠機能を ON
にしないでください。下の錠
が施錠されると工事用キーで
解錠できなくなります。

※エラー音、エラー表示が点く場合は、[7/8]を参考に対処してください。

■ドアのブザー音と表示について

LED

タッチボタン

電池切れ表示

リーダー

[illegible]

※S型ハンドルの場合、リーダーがハンドルに内蔵されており、一部形状が異なりますが、ブザー音やLED表示内容は変わりません。

■商品仕様

■ドア側(電池式)

入力電源仕様	DC6V アルカリ乾電池 単3形 8本(4本の直列接続を2並列で接続)
電池寿命	約 1年(常温20℃ 操作：10回/日)
出力周波数	2402～2480MHz / 13.56MHz
電界強度	85dB μ V/m / 112dB μ V/m(参考値)
無線局の種別	誘導式読み書き通信設備 2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム
使用環境温度範囲	－10～50℃(電池を除く)
使用環境湿度範囲	20～90%(相対湿度)
保存環境温度範囲	－20～60℃
スマートフォン登録可能数	計10台(最大同時接続数6台)
リモコン登録可能数	
カードキー登録可能数	

■カードキー

使用環境温度範囲	－10～50℃
保存環境温度範囲	－20～60℃

※本機器は総務省の技術基準に適合しており、総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。
改造すると法律により罰せられることがあります。